

「存在して当たり前、しかし大切な存在へ」

我如古 将人（大塚製薬株式会社 大阪支店）

私が目指す MR 像は「存在して当たり前、しかし大切な存在」である。今や MR は各施設に担当者がほぼ 1 名いると考えられる。施設に MR が訪問し、日々自社薬剤の情報伝達を行っているだろう。それは医師から見ると当然のことであり日常の一部となっているのではないだろうか。その中でも「居てくれて役に立った」「その情報のおかげで患者さんが良くなった」等の居なくてはならない存在になり、患者さんはもちろんのこと弊社を含めた社会に貢献していきたい。その為に基礎中の基礎である「薬剤の適切な情報を医師に伝達すること、医療関係者としての自覚を持つこと、患者さんの命に携わっている自覚を持つこと」という 3 つの信念を大事にしたいと思う。

1 つ目の信念は「薬剤の適切な情報を医師に伝達すること」である。薬剤は主作用ももちろん大事だが副作用もある諸刃の剣だと感じている。特に弊社が扱っている抗精神病薬は長年飲み続けなければならない薬の一つだ。その薬の主作用だけでなく副作用や使い方等、患者さんの背景に沿った情報を医師に伝達しなければ患者さんの QOL※1 の低下を招くだけではなく、人生まで狂わせてしまう可能性がある。医師に適切な情報を伝達することで延いては患者さんの人生を良い方向に導くことに繋がると考えている。

まだ弊社の製品が納入されていない施設に訪問していた時のこと、弊社の薬剤を他の薬剤に上乗せすると悪化すると聞いたことがあるがどうということだご質問を受けた。薬理作用や副作用等を含めた悪化する可能性をお示しした後、対処法や弊社の薬剤を投与頂く意義も併せてご紹介させて頂いたところ、「デメリットも理解しなければ処方出来ない。」と新規採用・処方頂いた。その後「患者さんも前の薬よりこっちが良いと喜んでいるよ。」との大変嬉しいお言葉を頂き、薬剤のデメリットも含めた適切な情報を伝達することの大切さを改めて認識させて頂いた。

2 つ目の信念は「医療関係者としての自覚を持つこと」である。情報伝達の頻度としては医師が一番多いだろう。しかし医師と同様にコメディカルの方々の情報伝達も大事だと感じている。

調剤薬局にて薬剤師対象の説明会を行った時のこと、「MR さんは調剤薬局にこないケースが多く、患者さんの質問に答えられないこともある。」とのお言葉を頂いた。それ以後度々訪問し患者さんの訴えがないかその都度確認した。あればそれに関する情報を伝達するように心がけた。そしてお教え頂く内容を医師にフィードバックし、医師との会話を薬剤師にもフィードバックするように務めた。変薬されることもあったが、「患者さんが楽になったと言っていた。ありがとう。」と仰って頂いた。医師と薬剤師の間に私が入ったことで少しは患者さんの QOL に貢献出来たのではと感じ、MR は医療関係者の一員なのだと再度意識が高まった出来事であった。

3 つ目の信念は「患者さんの命に携わっている自覚を持つこと」である。前述したが、薬は主作用も大事だが副作用もある諸刃の剣だと感じている。患者さんは良くなりたい一心で薬を服用

しているにも関わらず、副作用によって更に QOL が下がるケースは珍しくなく、最悪亡くなることもある。そのような薬を扱っている MR はそのことを肝に銘じろとおっしゃる先生がおられた。

私が新人の頃、薬剤のメリットを話すことに一生懸命だったが、この経験を機に副作用やその対処法もお伝えし、場合によっては他社製品を薦める様になった。その先生から「やっと MR らしくなってきたね。教えてもらった通りに投与してみたら患者さんも満足しているよ。」とのお言葉を頂いた。MR は薬を通して患者さんの命に携わっている重要な存在なのだと気付かされた瞬間でもあった。

以上 3 つの信念は特別なことは何もなくごく当たり前のことだが、忘れがちで本当に大切なことではないだろうか。MR とはいえ企業に勤めるサラリーマンであり他業界の企業同様に売り上げの上昇等が求められる。それを求めすぎると、その信念はなくなり、我々が扱っているものは「薬」ではなく無機質な「物」になる。3 つ信念を常に心に持ち続け「存在して当たり前、しかし大切な存在」として MR 活動に従事した結果が売り上げに繋がると信じている。

その「存在して当たり前、しかし大切な存在」とは例えると太陽に似ていると思う。朝日が昇り沈んでいく。一日の当たりの風景である。しかし太陽は我々生物だけではなく、作物や地球上の多くの生命体に栄養やエネルギーを与えてくれる必要不可欠で大切な存在である。MR も同様ではないだろうか。MR が扱っている「薬」は患者さんの生命に関わる栄養やエネルギーであるともとれる。私も「存在して当たり前、しかし大切な存在」である太陽と同じように明るく社会を照らす存在でありたい。

※1 QOL Quality Of Life の略。『生活の質』と訳され、人間・自分らしい生活を送り人生に幸福を見出しているか、ということを尺度として捉える概念。